

2015 年度「全腎協ニューズレター」第 4 号
全腎協事務局作成 (2015. 7. 7)

■2014 年末の透析患者数は 319,388 人 (速報値)

ー日本透析医学会学術集会が横浜で開催ー

6 月 26 日より横浜で開かれた第 60 回日本透析医学会において、2014 年末の透析患者の速報値が報告されました。

透析患者総数は 31 万 9,388 人 (前年より 4,950 人増)、導入患者数は 3 万 8,335 人 (前年より 240 人増) でした。

導入患者の原疾患の第一位は糖尿病性腎症 (43.3%)、次に慢性糸球体腎炎 (17.9%)、腎硬化症 (14.2%) と続きます。導入患者の原疾患別の平均年齢をみると、腎硬化症が 75.1 歳 (前年 74.6 歳) と最高でした。

平均年齢では、導入患者は 69.0 歳 (前年 68.68 歳)、患者全体で 67.5 歳 (前年 67.20 歳) と高齢化の微増傾向は続いています。

なお、当学会では、今回から近い将来に透析患者数がピーク、そして減少などへ転じることが予想されていることから、6 月現在の時点では、速報値による分析は行わず集計情報報告にとどまる内容になっています (各都道府県の詳細は 12 月末公開予定)。

参考 : <http://www2.convention.co.jp/60jsdt/pdf/sokuho.pdf>

わが国の慢性透析療法の要約

2014 年 12 月 31 日現在

施設数	4,314 施設 (46 施設増 1.1%増)
設備 ベッドサイドコンソール	130,952 台 (2,802 台増 2.2%増)
能力 同時透析	129,275 人 (3,015 人増 2.4%増)
最大収容能力	430,491 人 (8,330 人増 2.0%増)

慢性透析患者 319,388 人 (4,950 人増)

昼間	268,720 人 (84.1%)
夜間	41,003 人 (12.8%)
在宅血液	526 人 (0.2%)
腹膜透析	9,139 人 (2.9%)

導入患者数	38,335 人 (240 人増 0.6%増)
死亡患者数	31,334 人 (583 人増 1.9%増)

最長透析歴 46 年 6 ヶ月

日本透析医学会調べ